



笑顔あふれるまちづくり

# いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員 区政報告

NO. 389. 2014. 1. 5.

## 大規模開発・巨大道路ではなく

## 認可保育園・特養ホームをつくって



# 2014年みんなで要求実現を



(勅使千鶴「子どもの発達とあそびの指導」より抜粋)  
「子どもの遊びが奪われている」と保育教育現場からSOSが出ています。  
「子どもたち遊んでますか」を合言葉に、人間性豊かな大人に成長する事を願う、子どもが遊べる社会にしていきましょう。  
認可保育園の

### 〈豊かな子ども期を〉

○子どもは遊びを通して面白い、楽しい経験を一人でじっくり、友達と一緒に繰り返す。遊びの中で育つ積極性や意欲、創造性は、小学校に入ってから学習活動へと受け継がれていく。

増設(株式会社任せにせず、品川区が区立をつくる)と少人数学級実現に向けがんばります。

### 〈豊かな環境を〉

○遊びは子どもたちが自分で決めたルールや約束事によって進められる。

人間は生物ですから、太陽ときれいな水と空気は欠かせません。

○遊びを通して手や足全身を使うことが様々な身体機能の発達を促す。○ごっこ遊びは精神的発達に大きな役割をもつ。○遊びの中で我慢したり自己主張しながら子どもは自己を形成していく。

品川区は、太陽を奪い風害を撒き散らす、空気を汚し地球温暖化を進める大規模開発・巨大道路建設を進めています。防災のために必要な開発がなぜ40階建てマンションなのか。疑問だらけの武蔵小山駅周辺開発と、防災に役立たない放射2号線道路建設は白紙にもどし地域住民の総意のまちづくりに転換しましょう。

### 〈豊かな老後を〉

今年65歳になる私は、80歳になっても90歳になっても、友のいる品川に住み続けたいと願っています。

みなさんの願いを聞かせてください。そして老後に向かって一緒に行動しましょう。

住まいは人権。誰もが安心して住み続けられるように、公営住宅建設や家賃助成制度が必要です。一人暮らしを応援する福祉、介護、医療の充実は待ったなしです。

在宅が困難になった時に、家の近くの特養ホームに入りたい。当然の願いが叶うようにがんばりましょう。

左表をご覧ください。区民のみなさんの23回にわたる区議会への請願行動と共産党の議会論戦

### 今後建設される特養ホーム

- ・2014年12月杜松小学校跡地
  - ・2016年平塚橋会館建替え時、区営住宅、シルバーセンターとの合築
  - ・2017年上大崎みやこ荘跡
- 合計229ベット（個室ユニット）

### 立ち退きを迫られる住民の権利を守る緊急学習会

安藤たい作前区議地域では、測量を進めるための「土地境界の立会確認のお願い」が郵送され不安が広がりました。どのように対応したら良いのか学習会が行われ参加しました。

NPO法人区画・再開発対策全国会議の勝俣秀一世話人からたくさんアドバイスを受けました。

道路も開発もどちらも生活困難を招く。広範な運動が必要。何よりみんなでまとまること。20件30件拒否すれば、強制収用はできない。（開発は3分の2の同意が必要）

運動がなければやりたい放題だが、住民を守るために都市計画法第74条がある。生活再建が保障されなければ測量には応じない。生活の基盤を奪ってはならない。「勉強しなければ勝てないことを肝に銘じて運動を広げて」と元気が出る学習会でした。補助29号と放射2号線の「道路問題しながわ連絡会」  
結成のつどいは1月19日午後1時半荏原第5地域センター

が実を結び今後3か所の特養ホームが増設されます。喜びの声が届いていますが、団塊世代のみならず、安心してはいただけません。直近の申し込みでは584人中希望がなくなった人は132人、まだまだ足りません。ところが区は「新規施設の建設は抑制が基本」としています。決算委員会で財源も土地もある事が明らかになりましたので、更なる増設計画をつくるよう求めていきましよう。



### いいぬま雅子区政報告

### 新春のつどい

日時 2月11日（祝）午後1時～3時30分  
会場 スクエア荏原 イベントホール（1F）

区政報告、手作り料理、文化行事など楽しい企画でお待ちしています。